

# 第6学年4組 英語活動案 (総合的な学習)

平成20年2月6日(水)

第2校時

授業者 教諭 T1

中学校教諭 T2

ALT T3

1 題材名 将来の夢

2 題材の目標

- ・ I want to ~を使って将来の夢についてのインタビューを楽しむことができる。

3 題材について

(1) 題材のテーマについて

本校では、「思いをふくらませ表現することのできる子どもの育成」を研究主題に設定している。総合的な学習の時間を中心に行う国際理解学習でも、単に英語の話し方を覚えるというのではなく、公用語としての英語活動を通して、世界のいろいろな文化や生活習慣に触れることをねらいとしている。また、外国の人に限らず周りのいろいろな人々と進んでコミュニケーションを図り、進んで人とのふれあいを楽しむことのできる児童の育成も目標としている。

コミュニケーション能力の向上のためには、まずは自分から相手を見つけ、話をしようとするのが大切である。たくさん友達と話し、聞き合うことで相手を知り、自分とは違う相手を認め尊重することができる。そのため、お互いを知るコミュニケーションの場を多く設定し、みんなで楽しく活動できる題材を考えた。

本学級では、パーソナルポートフォリオの実践を通して高学年部会のテーマ「自分の考えをもち、互いを深め合う集団作り」をめざしている。パーソナルポートフォリオとは自分のプラス面を探しそれに関するさまざまなものをファイルしたもので、①自分のことをよく知る。②自分の良さについて考え、自分が好きになる。③友達の良さについて考え、良いところを認め合う。④友達ともっと仲良くなる。⑤自分をもっと伸ばそうという気持ちを高めることを目的としている。また文章などで思いをかきとめることで自己表現力も高め、ファイルしていくことで自己肯定感を高めることをねらいとしている。これらのことは中学校でも自信を持って生活していくことにも繋がっていくものと考えられる。将来の夢については、未来に希望を持って小学校を卒業してほしいと願って、このファイルをスタートさせた4月に全員が書き記しているがその内容は子ども同士交換はしていない。卒業を前にしたこの時期に英語活動を通してコミュニケーションをする中で、お互いをもっと知り、認め合えるためにもこの題材は有効であると考えられる。

(2) 活動計画 2時間配当

題 材	主な言語材料
中学生になったら・・・1時間	I want to join the ~ .Because ~
将来の夢・・・1時間 (本時)	What do you want to be ? I want to be a ~ . Because ~

4 児童について 男子14名 女子16名 計30名

英語活動については、多くの児童が楽しんで取り組んでいる。ペアワークやゲームを通してコミュニケーションを楽しんだり、日常生活で友達との交わりが少ない児童もペアワークを通して進んでコミュニケーションをとることができるようになってきている。

これまでの活動では、I'm good at ~を使って得意なことを伝え合ったり、I'd like to buy ~を使って買い物ロールプレイなどを行ったりした。修学旅行の前には Where are you from ~や How do you like Japan ? 使って外国の人に会ったつもりでロールプレイを行った。京都班別行動では、積極的に外国人に話しかけていた児童も数多くいた。旅行後には What did you buy ? を使って友達がどんなおみやげを買ったか知る活動は大いに盛り上がった。知らない言葉を How do you say ~ in English .を使ってたずねることは継続して行っている。I want to ~ What do you want to be ? I want to be a ~ . は初めての言語材料である。

今回の「将来の夢」を意欲を持って取り組めるように自分になりたい職業の絵カードを自作で用意し、

英単語の言い方やスペリングについても自分なりに事前に調べて活動に入らせたい。

## 5 指導について

### ・表現力を高めるために

今年度の中学校校区教育がめざす目標の大きな柱として「人に心を開き、聞く・話す等のコミュニケーション能力を育てる」があげられている。普段から、国語科や総合的な学習の時間など教科や領域で伝え合う活動を意識して取り入れている。表現することへの抵抗感を減らすためには、大きな声で話すことに慣れることが大切である。英語活動の時間だけでなく、簡単なあいさつは朝の会・帰りの会などにも取り入れ、大きな声で言ったり反応したりできるように言葉がけをして、児童に意識を持たせることを続けている。また、同じ言語材料を少しずつ違った表現に変えて繰り返し使うことが効果的である。本題材では基本的な動詞である「want」で統一しI want to～. に be を加えて What do you want to be? I want to be a～. で構成している。また、自信を持って積極的に表現できるようにするために、ALTを含む指導者がきるだけ児童の中に入って支援することにより、児童の表現への意欲を高めていきたい。

### ・コミュニケーション活動を楽しむために

進んで相手を見つけ、いろいろな友達と話したり自分の思いを伝えたりできるように、本時でもできるだけ多くの友達と話す場面をつくるためにペアワークを用いることにした。本題材では将来なりたい職業について、友達と互いにインタビューをすることで、友達をより理解することができ、楽しくコミュニケーションができるものとする。また単に自分のなりたい職業を話すだけではなく、前後のあいさつや自分がその職業になぜなりたいかを相手に伝えさせたい。これらは言葉は短くても相手に対する「尊敬の念」を伝えると同時に自らの「開かれた心」を伝えることができるということを理解させたい。それらがあって初めて、心と心を結ぶ豊かなコミュニケーションになるものとする。

成和中学校の1年生の英語の授業では、コミュニケーションに対する抵抗感がない生徒が多く、小学校の英語活動の成果を実感しているということである。本時でも、自分のことを表現しようとする気持ちや何とかして相手のことを聞こうとする態度を育てたい。そして、この活動を通して、初めて出会う成和中学校の広瀬先生やALTのシャーリー先生にも自然体で接することができるようにしていきたい。また、中学校でのペアワークでは、男子は男子、女子は女子同士になりがちであるとのことである。そこで、男女隔てなく誰とでも仲良くコミュニケーションできるようにしたいと考える。

### ・アルファベットの文字を書くことに対する抵抗をなくすために

中学校では、アルファベットの文字を書くことが入ってくると英語に対して苦手意識をもつ生徒が出てくるということである。本学年では、昨年度から英語活動の導入には毎回フォニックスを取り入れている。ネイティブであるALTの口元を見ながらアルファベットの発音の仕方、口の開け方などを知るために、継続して行っている。また、ローマ字コンテストも随時取り入れてきた。これらの活動は中学校へのスムーズな移行への助けになると思われる。英語活動の内容もアルファベットを使ったゲームをしながら文字に親しめるようなことも行っている。

本時では、1年間のまとめとしてフォニックスを使ったゲームを取り入れる。ランダムに書かれたアルファベットの中からALTの先生が出題し、素早く反応し正解していく活動を導入とすることにより意欲的な活動となることが予想される。また成和中の先生方とも親密感ができればと考える。

## 4 本時の目標

英語活動を通して、将来の夢について互いに質問し合うなかで友達の願いや思いを知ることができる。

## 5 準備物

職業絵カード インタビューシート phonics の CD

児童の活動	支援と評価(☆)	
	T 1	T 2・T 3
<p>○はじめのあいさつをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Good morning. Shari and Ms.Hirose .</li> <li>• Fine thank you. and you ?</li> </ul> <p>○ゲストティーチャーとALTの自己紹介を聞く。</p>	<p>○ゲストティーチャーとALTを紹介する。</p>	<p>Good morning. Every one? How are you ? Fine thank you.</p> <p>○自己紹介をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• T 3・T 2の順で紹介し簡単な質問をする。</li> </ul>
<p>○phonicsのCDで発音練習をする。</p> <p>○フォニックスを使ったゲームをする。</p>	<p>○発音練習の間にホワイトボードにアルファベットをランダムに書く。</p> <p>○ゲームの説明をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1チーム15人に分かれ早く発音通りのアルファベットを見つけたチームを勝ちとする。</li> </ul> <p>☆発音の違いに気をつけながらアルファベットに親しんでいるか。</p>	<p>○CDに合わせて発音する。</p> <p>○発音練習の間にホワイトボードにアルファベットをランダムに書く。</p> <p>○ALTが15のアルファベットを出題する。</p>
<p>○将来なりたいものについての単語練習をする。</p> <p>○将来なりたいものについて聞いたり答えたりする言い方を練習する。</p> <p>What do you want to be ? I want to be a ~ . Because ~</p> <p>○児童とALTでフレーズの練習をする</p> <p>○ボランティアとALTでデモンストレーションをする。</p>	<p>○理由は日本語で言ってもいいことを伝える。</p>	<p>○児童がかいた絵カードを示しながら言い方や発音を指導する。</p> <p>○フレーズの言い方を教え、練習する。</p> <p>○フレーズのデモンストレーションをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ALTとT 2 (英語のみ)</li> </ul>
<p>○ペアで練習する。</p> <p>○インタビューをする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>S 1: Hello. S 2: Hello. S 1: What do you want to be ? S 2: I want to be a ~ . Because ~ What do you want to be ? S 1: I want to be a ~ . Because ~ S 2: Thank you. S 1: Thank you.</p> </div>	<p>○シートに書いてあるものになりたいたいと思っている人はだれかインタビューで探さよう伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 男女問わずなるべくたくさんの人やゲストティーチャーとALT (第二の夢について) と積極的に関わるよう促す。</li> </ul> <p>☆積極的に互いにインタビューしているか。</p>	<p>○言い方に戸惑っている児童がいたら支援する。</p> <p>○児童の中に入って、インタビューをする。</p>
<p>○感想を言う。</p> <p>○あいさつをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Good.bye. Shari and Ms.Hirose .</li> <li>• Thank you very much.</li> </ul>	<p>○友達のことや将来についての思いなどを発表させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Good bye.every one</li> <li>• Thank you very much.</li> </ul>

# What do you want to be ?

## I want to be a ~ . Because ~

<h3>将 来 の 夢 ( )</h3>	
卓球の選手	
体操の選手	
バレーの選手	
サッカーの選手	
バドミントンの選手	
料理人	
小説家	
パティシエ	
医師	
薬剤師	
保育士	
電気工事士	
飼育員	
ネイリスト	
花屋	
声優	
考古学者	
天文学者	
美容師	
パークレンジャー	
	シャーリ
	ミズ ヒロセ